

令和 3年度

事務事業評価表（令和 2年度 の実績評価）

記入年月日
令和 3年 4月 1日

事務事業名	県体育施設協会参画事業						事業区分	新規/継続 単独/補助		事務事業No.	020402000077
			政策体系上の位置付け			継続		単独		所属課	090501
総合計画の施策名		0204	生涯スポーツ活動の振興							課長名	スポーツ振興課
政策名		02	生きがいを育む学びのまちづくり							グループ	スポーツ振興G
施策名		04	生涯スポーツ活動の振興							担当者名	
手段名		02	②快適な施設利用の推進								
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	10	06	01	02	00	単年度繰返し（平成18年度～）				
法令根拠						保健体育総務事業					
						期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要（事務事業の全体像）	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
【事務事業の内容】 ・県体育施設協会に加盟し、県下の体育、スポーツ、レクリエーション施設の拡充整備を図るとともに、管理者相互の連絡を密にし、適正な運営により本県のスポーツの振興に寄与することを目的に、会議の開催、講習会及び研修会等を行っている団体である。 【事業費】 ・県体育施設協会負担金 5千円	・市スポーツ、レクリエーション施設を県体育施設協会へ登録する。 ・「施設の安全管理」「指定管理者制度」等の内容で行われる、県体育施設研究協議会研修会に参加する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段（担当者の活動内容）	④ 活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市スポーツ、レクリエーション施設を県体育施設協会へ登録する。 ・「施設の安全管理」「指定管理者制度」等の内容で行われる、県体育施設研究協議会研修会に参加する。	研究協議会、施設管理士養成講習会参加回数	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
関東地区体育施設研究協議会 登録市町村	登録市町村数	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
適正な体育施設管理運営に対する知識を習得したり情報を得ることができる。	体育施設研究協議会参加者数	人	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

		01年度		02年度		03年度		期間限定 総投入量
		(実績)		(実績)		(計画)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	5	5	5	5	0
	事業費計（A）	千円	5	5	5	5	0	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

02年度事業費 実績（千円）

03年度事業費 予算（千円）

18 負担金補助及び交付金	5			18 負担金補助及び交付金	5		
合計				合計			
5				5			

事務事業名	県体育施設協会参画事業	事務事業No.	20402000077	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 体育、スポーツ、レクリエーション施設の拡充整備を図るとともに、管理者相互の連絡を密にし、適正な運営により本県スポーツの振興に寄与することを目的とする協会が設立されたことにより加盟。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 県内先進体育施設の情報（制度導入のメリット、デメリット等）を提供してほしいとの意見あり。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	体育施設管理担当者が、習得した知識や収集した情報を活かした管理運営をすることにより、市民の体育施設利用の安心安全が確保でき、また有効活用がなされているという結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	現在、体育施設の管理は市職員が行っているが、研究協議会や指導者養成講習会に参加し、資質の向上を図ることにより、市民の安心安全が確保でき、また有効活用がなされるという公共性があるので、公共関与は妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	研究協議会・指導者養成講習会へ積極的に参加して、知識の習得や情報収集等を行なっているが、県の研修会等は年1回しか行っていない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	体育施設管理担当者が、研究協議会や指導者養成講習会に参加する機会がなくなり、知識の習得や情報収集等が困難となる。
有 効 性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業なし
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は負担金の5千円のみであり削減の余地はない。人件費も研修会に参加することであり削減はできない。
効 率 性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担を取るものではなく、公平・公正である。
公 平 性	【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)		

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	体育施設管理担当者が、習得した知識や収集した情報を活かした管理運営をすることにより、市民の体育施設利用の安心安全が確保でき、また有効活用がなされる。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>維持</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持		○	×	低下	維持	×	×	×
成果		コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上	維持		○	×																	
低下	維持	×	×	×																	
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項		(6) 事務事業優先度評価結果																			
(1) 課長評価		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																			

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	